

令和6年度 事業計画

令和6年6月1日～令和7年5月31日

公益社団法人 日本カーリング協会

1. 総会・理事会等開催
 - (ア) 社員総会の開催
 - ① 定時社員総会の開催 令和6年8月3日開催予定
 - (イ) 理事会の開催
2. 監査会の開催
 - ① 令和5年度 会計監査（東邦監査法人） 令和6年7月9日～11日
 - ② 令和5年度 監査会 令和6年7月17日
3. 上部団体対応
 - ① 日本オリンピック委員会（JOC-NF 連絡会議、NF 支援センター会議、WUG 派遣 他）
 - ② 日本スポーツ協会（公認指導者登録、他）
 - ③ 日本スポーツ振興センター（スポーツ振興助成金、アスリート個人助成、HPS 事業）
 - ④ JADA（ドーピング検査事業説明会 他）
4. 全国事務局長会議の開催
令和6年9月 Japan Sport Olympic Square 会議室およびオンラインにて開催予定
5. 補助事業の申請・実施・報告業務
6. 広報・マーケティング活動
マーケティング委員会と連携して以下を実施
 - ① ホームページリニューアル
 - ② ホームページ、SNS の更新維持作業、記者会見の開催（日本代表チーム会見 他）
 - ③ スポンサーシッププログラムに沿った協賛対応
7. 協賛企業対応
全農、JAL、ナブテスコ、ミスノ、日本マスク、大会協賛各社
8. ワールドカーリング（WC）関係
国際大会代表チーム派遣業務等
9. 会計業務
日常会計業務、月次(四半期)試算表作成、決算業務、納税、給与支払い、社会保険手続き 他
10. 競技者登録・登録証発行

1. 目的

財務委員会は本協会財務の健全性を確保するため、財政的な基盤を充実し、安定的に維持する必要があります。毎年度の予算を立案・決算に関する審議を精査し、理事会に提案する事を目的とする。

2. 令和6年度活動計画

- ・財務委員会の開催（7月、9月、12月、2月、3月、4月）
- ・予算案の作成、各委員会への予算折衝（折衝会議を4月第1週に予定）
- ・予算執行の監督、四半期毎の資産状況の確認と必要な財務施策の立案と実施
- ・補正予算案の作成
- ・決算案の作成
- ・財務構造の分析と中長期の財務計画の立案
- ・寄付金の税額控除の対象となる公益法人を目指すための活動
- ・協会への個人協賛（仮称カーリングサポーター）を募るための活動
- ・諸謝金に対する適格請求書等保存方式への対応の検討

3. 令和6年度予算案

会議等をオンラインで行うため当初予算は要求しない。必要に応じて補正予算申請を行う。

1、委員会の開催

- ・年6回程度（隔月開催）のweb会議開催を基本とし、それ以外にも必要に応じ適宜開催。
- ・集合会議は1回開催。

（2024年度の事業計画等が承認される定時総会又は全国事務局長会議に合わせて開催。）

2、スポーツ庁制定「スポーツ団体ガバナンスコード」への対応

- ・2019年に制定された「スポーツ団体ガバナンスコード」による毎年の自己説明及び公表に対応。
- ・令和5年度（2023年）の適合性審査における指摘事項への対応。

3、中長期計画の進捗管理

- ・策定、公表された「中長期計画」についてワーキンググループと共に各年度の目標、達成の進捗状況の精査

4、協会運営体制に沿った運営実務の整備

- ・実務に沿った規程類の策定及び改訂。
- ・実務の効率化への対応。

5、危機管理マニュアル等の整備

- ・危機管理委員会の立ち上げ準備
- ・協会関係者向け、チーム関係者向けのマニュアル、フロチャートの作成

6、役員選考委員会（令和6-7年度役員選考 11月設置）の検証

- ・ガバナンスコードに沿った役員選考の課題や問題点の精査。

7、有料観戦大会に関する事業検証

- ・日本選手権のアリーナ開催等におけるマーケティング収益事業の検証等、マーケティング委員会へ事業検証面等からの協力。

8、協会 Web サイトの改修

- ・競技者管理のシステム化と情報発信機能の強化

9、その他

- ・全国事務局長会議（JCA 主催）に委員長又は副委員長を派遣し、事務レベルでの提案等について検討、改善等協力を行う。会議での意見や提案等については理事会へ報告する。
- ・登録証の発行（事務局依頼）登録料の振込が確認された加盟協会から随時発行。

令和6年度 指導普及委員会 事業計画

指導普及委員会委員長 中村 義人

1. 委員会の開催 【共通事業】

5回程度（WEB 開催）

- (1) 第1回委員会（令和6年 6月） 令和5年度事業実績、令和6年度事業実施ほか
 - (2) 第2回委員会（令和6年 8月） 令和6年度事業の進捗ほか
 - (3) 第3回委員会（令和6年12月） 令和6年度事業の進捗、令和7年度事業実施方針ほか
 - (4) 第4回委員会（令和7年 2月） 令和7年度事業計画（案）、令和7年度収支予算（案）ほか
 - (5) 第5回委員会（令和7年 4月） 総会提出事項ほか
- その他、必要に応じてWeb ミーティングを実施

2 公認カーリングコーチ養成講習会 【指導事業】

(1) カーリングコーチ1

開催地：軽井沢

時 期：令和6年6月14日（金）～16日（日）

定 員：36名（予定）

(2) カーリングコーチ2

開催地：青森市

時 期：前期 令和6年 9月14日（土）～15日（日）

後期 令和6年11月16日（土）～17日（日）

定 員：32名（予定）

3 カーリング指導者ステップアップ講習会（指導者更新研修） 【指導事業】

対 象：公認カーリング指導者、JCA 登録会員

方 法：WEB（座学）

時 期：令和6年12月（予定）

受講料：指導員 2,000 円、その他 3,000 円（予定）

申込者：30名（予定）

4 カーリング指導者マニュアル改訂事業（2か年計画） 【指導事業】

(1) 第6版増刷

在庫僅少のため令和7年度用に増刷

(2) 第7版編集

1年目（R6） マニュアルの構成・編集作業の検討

2年目（R7） 原稿執筆、印刷製本

5 JCA 功労章及び JSPO 永年表彰 【指導事業】

(1) JCA 功労章 (3 名以内)

加盟都道府県協会に推薦を依頼 (12~翌年 1 月)

指導普及委員会において協議 (2 月)

審査委員会 (理事会) において審査・決定 (3~4 月)

社員総会において表彰 (8 月)

(2) JSPO 永年表彰

令和 5 年度の JCA 功労章受章者を JSPO に推薦 (7 月)

JSPO 永年表彰受賞決定 (1 1 月頃)

6 JSPO 指導者資格の受講希望調査・推薦 【指導事業】

スポーツドクター 令和 7 年 2~3 月 (令和 7 年度分)

アスレティックトレーナー 同上

スポーツデンティスト 同上

- ・加盟協会に受講希望者を照会し、該当者がいれば経歴書等を審査して JSPO に推薦
- ・加盟協会への推薦依頼及び推薦は医科学委員会及び JCA 事務局と協力して実施

7 JCA カーリングスクール 【普及事業】

(1) JCA カーリングスクール横浜 2024

期 日：令和 6 年 6 月 8 日 (土)

会 場：横浜銀行アイスアリーナ

主 催：(公社) 日本カーリング協会ほか

主 管：(公社) 日本カーリング協会 (指導普及委員会) ほか

(2) JCA カーリングスクール千葉 2024

期 日：令和 6 年 6 月 22 日 (土)

会 場：アクアリンク千葉

主 催：(公社) 日本カーリング協会、千葉県カーリング協会

主 管：(公社) 日本カーリング協会 (指導普及委員会)、千葉県カーリング協会

(3) JCA カーリングスクール宮城 2024 (盛岡会場)

期 日：令和 6 年 6 月 23 日 (日)

会 場：盛岡市アイスリンク (みちのくコカ・コーラボトリングリンク)

主 催：(公社) 日本カーリング協会、宮城県カーリング協会

主 管：(公社) 日本カーリング協会 (指導普及委員会)、宮城県カーリング協会

8 JCA カーリングミニスクール 【普及事業】

(1) JCA ミニスクール西日本 2024

期 日：未定 (調整中)

会 場：トレストア白山 (香川県三木町)

主 催：(公社) 日本カーリング協会ほか

主 管：(公社) 日本カーリング協会 (指導普及委員会)、愛媛県カーリング協会

(2) JCA ミニスクール福島2024

期 日：未定（調整中）

会 場：磐梯熱海アイスアリーナ

主 催：（公社）日本カーリング協会ほか

主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）、福島県カーリング協会

9 スポンサー向けカーリング体験 【普及事業】

(1) 軽井沢会場

期 日：令和6年10月19日（土）

内 容：調整中

(2) 愛知県会場

期 日：令和6年10月26日（土）

内 容：調整中（一般スクールと同時開催）

10 カーリング online クリニック 【指導事業】

期 日：未定（調整中）

内 容：初級者及び中級者に対するオンラインの個別指導（5年度の結果を踏まえて検討）

対 象：JCA 登録者

11 第6回全日本小学生カーリング選手権大会 【普及事業】

時 期：令和6年12月21日（土）、22日（日）（見込み）

会 場：横浜銀行アイスアリーナ

主 催：（公社）日本カーリング協会

主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）、東京都カーリング協会ほか

12 第3回全日本中学生カーリング選手権大会 【普及事業】

時 期：令和6年7月26（金）、27日（土）、28日（日）

会 場：MGC 三菱ガス化学アイスアリーナ

主 催：（公社）日本カーリング協会

主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及）、新潟県カーリング協会

13 JCA カーリング指導普及活動支援プログラム 【普及事業】

募 集：令和6年6月～

採 択：5件程度（予算の範囲内）

予 算：2,000 千円（予定）

14 指導普及備品貸し出し 【共通事業】

(1) カーリングブラシ

(2) フロアーカール

- 日本選手権大会その他の競技大会の開催
- 競技力向上事業の実施及び調査研究
- 審判員の資格認定及び講習会の開催
- 国際競技大会等の開催並びに国際競技大会へのスタッフ参加者の選定及び派遣
- アイスメイクの技術開発及び検定・講習会の開催

① 競技委員会の開催

- 第1回委員会(Web)
日 時：2024年 6月 日 ()
- 第2回委員会(Web)
日 時：2024年 9月 日 ()
- 第3回委員会 (Web)
日 時：2024年10月 日 ()
- 第4回委員会 (Web)
日 時：2025年 1月 日 ()
- 第5回委員会 (Web)
日 時：2025年 3月 日 ()
- 第6回委員会 (Web)
日 時：2025年 5月 日 ()
- 必要に応じWeb会議を開催
- 大会報告委員会の開催

② 競技運営研修会・運営マニュアル作成事業

- 競技運営研修会（集合会議・Web会議）
日 時：2024年10月5日（土）～6日（日）
場 所：（検討中）
競技会の在り方の検証及び公式記録データ入力研修
- 大会公式記録作成データ修正（電子版）
- 大会運営マニュアル作成

③ 審判員検定講習会

- A級検定講習会
開催日程・場所：希望者の所属・人数等により決定
- A級実技検定講習会
開催日程：各日本選手権大会にて
開催場所：各大会開催地

- B級検定講習会～（2回開催予定）

開催日程：未 定

開催場所：開催大会未定

- C級検定講習会

オンライン開催×2回、（8月・希望時期月）

希望する地域に応じた地域での開催（開催地の要望による日程）

④ 審判員研修会

- A級審判員研修会～開催方法未確定

開催日程：2024年 7月 日（ ）～

開催場所：札幌市（予定）

※出席審判員の旅費を支給（予算の範囲内支給）

- B級、C級審判員研修会（コンプライアンス研修を含む）

開催日程：2024年 8月・9月（土） 計 4回開催予定

開催場所：オンライン開催

⑤ 審判部事業

- 審判部会議

集合会議

開催日程：2024年 7月 日（ ）

開催場所：札幌市（予定）

Web 会議（随時開催）

- A級審判員派遣研修

派遣大会：調整中（ワールドカーリング主催大会へ派遣）

開催日程：調整中

派遣場所：調整中

- ワールドカーリング 国際審判員養成研修

ワールドカーリングアカデミーの受講の促進

- 審判員養成講習会検定資料作成・編集

- 競技規則翻訳・編集・出版

- B級審判員活動促進事業

各日本選手権大会への審判員の派遣

⑥ アイスメイク研究会事業

- アイスメイク研究会 Web 会議

開催日程：随 時

- アイスメイクライセンス取得講習会・検定

開催日程：2024年 9月 2日（月）～3日（火）

開催場所： WEB 講習会・検定

- ・アイスメイクライセンスステップアップ研修会

開催日程： 2024年 10月 21日（月）～22日（火）

開催場所： 北海道 稚内

- ・JCA ストーン・スクレーパーブレード維持管理
JCA スクレーパーブレード研磨料

⑦ 各種大会の開催日程及び開催場所

○第5回日本ミックスカーリング選手権大会

開催期間： 2024年8月22日（木）～25日（日）

開催場所： 北海道：稚内市 みどりスポーツパーク

参加チーム：12 チーム（6チーム2ブロック）

各ブロック2チーム+前年度優勝ブロック・準優勝ブロック各1チーム

○第15回全日本大学対抗カーリング選手権大会

開催期間： 2024年 9月12日（木）～9月15日（日）

開催場所： 北海道：北見市 アドヴィックス常呂カーリングホール

参加チーム：選手全員が同一の大学に在籍する学生である事。

○第18回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会

開催期間： 2024年12月 2日（月）～12月 8日（日）

開催場所： 北海道：稚内市 みどりスポーツパーク

参加チーム：前年度優勝ブロック1 前年度準優勝ブロック1 強化委員会推薦6

北海道：2 東北：2 関東：2 中部：2 西日本：2 計18チーム

※前年度枠が辞退の場合は3位には下げず強化枠に枠を移行する

※競技方法：予選1次・2次リーグ・準決勝・決勝

※前年度優勝、準優勝枠選手の出場確認を事前に行う。強化委員会での確定及び周知が必要。

○第42回日本カーリング選手権大会（男女）

開催期間： 2025年 2月 2日（日）～2月 9日（日）

開催場所： 神奈川県：横浜 BUNTAI

参加チーム：前年度優勝1・準優勝1・強化委員会推薦 3

ブロック代表チーム（北海道1 東北1 中部1 関東1 西日本1）5

○第20回全国高等学校カーリング選手権大会

開催期間： 2025年 2月13日（木）～16日（日）

開催場所： 青森県：青森市スポーツ会館

参加チーム 男女各5チーム

北海道：1 東北：1 関東中部：1 西日本：1 開催地：1

○第22回日本シニアカーリング選手権大会

開催期間： 2025年 2月21日（金）～24日（月）

開催場所： 北海道：名寄市 北海道立サンピラーパーク サンピラー交流館カーリングホール

参加チーム：

男子：北海道4、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計10チーム（2ブロック）

女子：北海道2、東北2、関東中部2、西日本1、開催地1 計8チーム（2ブロック）

欠場枠＝前年度の対象年齢登録者数によって割振りを行う（北海道は優先順位1位）。

※日本協会として派遣費用の一部助成

○第33回日本ジュニアカーリング選手権大会

開催期間：2025年 3月18日（火）～23日（日）

開催場所：青森県：青森市スポーツ会館

参加チーム：男女各8チーム

出場枠：北海道：3 東北：1 関東中部：2 西日本：1 開催地推薦：1

※出場辞退を辞退する場合は、2024年9月15日までに「出場辞退届」を日本カーリング協会
会長宛に提出すること。

※出場辞退があった場合の他ブロックへの割当は、次の順番とする。東北⇒北海道⇒関東中部

○第21回日本車いすカーリング選手権大会

開催期間：未 定

開催場所：未 定

参加チーム：6チーム（本州3・北海道3）

令和6年度 強化委員会 事業計画

強化委員会委員長 柳 等

1. 強化事業の目標・課題

1) 令和6年度目標

強化事業における最大の目標は、カーリング日本代表チームがオリンピック冬季競技大会、世界カーリング選手権大会において金メダルを獲得することである。

令和6年度の目標を、

- ① 2025年世界女子カーリング選手権大会メダル獲得
- ② 2025年世界男子カーリング選手権大会プレーオフ進出
- ③ 2025年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会プレーオフ進出
- ④ 2025年世界ジュニアカーリング選手権大会女子プレーオフ進出、男子出場
- ⑤ 冬季ワールドユニバーシティゲームズ(WUGW)男子・女子・ミックスダブルス各7位入賞
- ⑥ アジア冬季競技大会(2025/ハルピン)男子・女子3位入賞、ミックスダブルス金メダル獲得とする。

2) 課題

強化の基本方針は、各カテゴリーの強化チームを海外強化合宿に派遣し、国際競技力を向上させることである。この方針に沿って、強化戦略プラン、強化事業計画を策定し、実施する。エリート強化チームを複数認定し、海外強化合宿を行わせる。2026年ミラノ・コルティナ冬季オリンピック出場資格を獲得するために、世界カーリング選手権大会で上位入賞を目指す。ハイパフォーマンスサポート事業を有効に活用し、日本代表チームのパフォーマンス向上を図る。

女子 日本代表チームにより多くの国際試合経験を積ませる。2024年パンコンティネンタルカーリング選手権大会(PCCC)での5位以内入賞、2025年世界カーリング選手権大会出場資格獲得を目指す。強化チームのワールドカーリングチームランキング(WCTR)の順位向上を目指す。WCTR 8位以内 1チーム、16位以内 1チーム、20位以内 1チームを目指す。

男子 女子と同様に日本代表チームにより多くの国際試合経験を積ませ、2024年PCCCに臨ませる。WCTR 12位以内 1チーム、16位以内 1チーム、24位以内 1チームを目指す。

ミックスダブルス エリート強化チーム 3チームに海外強化合宿を実施させる。WCTR 8位以内 1チーム、20位以内 1チームを目指す。

ジュニア ジュニア強化チームA(ジュニア日本代表)に海外強化合宿を実施させる。ナショナルヘッドコーチ主導で計画的な強化活動を行う。U-18カーリングアカデミーを開催し、次世代カーラーの育成・強化を図る。ジュニアチームの指導者を対象に研修会を開催し、指導者の資質向上を図る。

冬季ワールドユニバーシティゲームズ 令和6年5月に選考した日本代表候補(学生強化チーム)をナショナルヘッドコーチのもとで競技力向上を図る。

その他 エリート強化チームA・Bの選手(JOCオリンピック強化指定選手)は、国立スポーツ科学センター等でアスリートチェックを原則受診することとする。スポーツ医・科学研修を実施する。強化チーム(強化委員会推薦チームも含む)の選手ならびにチームスタッフのインテグリティ教育プログラム(コンプライアンス研修、アンチ・ドーピング研修)を実施し、受講状況管理を徹底する。

2. 令和6年度強化事業

- 1) 強化チームの指定および認定
- 2) エリート強化チームA・B 国内強化合宿の実施
- 3) ジュニア強化チームA・B 国内強化合宿の実施
- 4) ミックスダブルス強化委員会推薦チーム選考合宿の実施
- 5) ジュニア夏季国内合同強化合宿の実施
- 6) ユースカーリングアカデミー
- 7) ジュニア強化チーム支援
- 8) インテグリティ教育プログラム（コンプライアンス研修，アンチ・ドーピング研修）実施
- 9) スポーツ医・科学研修実施
- 10) 海外強化合宿（エリート強化チームA・B・C，学生強化チーム，ネクストエリート強化チーム，ジュニア強化チームA）の実施
- 11) ワールドカーリング(WC)国際大会日本代表選考
- 12) WC 国際大会への日本代表チームの派遣，強化スタッフ，サポートスタッフの派遣，日本選手権大会・国際大会等の視察
- 13) エリート強化チームのアスリートチェック受診
- 14) 日本代表チーム・強化チームとの定期ミーティング
- 15) ナショナルチームコーチ・スタッフの定期ミーティング
- 16) ハイパフォーマンスサポート事業の活用
- 17) 他委員会との連携（指導普及委員会とのコーチ養成講習会カリキュラム検討・講師派遣，競技委員会との競技方法の検討，等）
- 18) 強化委員会会議開催

3. 令和6年度強化事業予算

- 1) 外国人コーチ対策費 155万円
- 2) ミックスダブルス強化委員会推薦チーム選考合宿 27万円
- 3) 国内大会視察等 101万円
- 4) 研修会講師派遣予算 23万円
- 5) ジュニア関連予算 496万円<ユースカーリングアカデミー，ジュニア強化チーム支援>
- 6) WUGW・AWG 派遣関連予算 551万円
- 7) アスリートチェック受診予算 38万円
- 8) WC 国際大会派遣関連予算 819万円
- 9) 強化事業（別紙，令和6年度選手強化事業等実施計画書）

以上.

目標

- ・アンチドーピング規則違反ゼロの継続
- ・ドーピング検査事業対応可能者の増加
- ・研修会や合宿時におけるトレーニング情報の提供
- ・選手やスタッフ、観客が安全に大会参加出来るよう医療サポートの実施

1 委員会の開催

- ・リモートで年4回の実施（6月・9月・12月・3月予定）

2 ドーピング検査事業

- ・toto 費用申請
- ・JADA、大会開催県協会と連携し、試合日程を確認、ドーピングコントロールステーションの設置、シャペロンの確保。検査、大会運営がどちらも問題なく進行するための調整
- ・NFとして検査立会い

3 アンチ・ドーピング啓発事業

① アンチ・ドーピング教育活動年間計画作成

② 研修会講師

- ・エリート強化チーム研修合宿（承認 Educator）
- ・ジュニア強化チーム研修合宿（承認 Educator）
- ・カーリング指導者ステップアップ講習会（承認 Educator）
- ・カーリングコーチ養成講習会（承認 Educator）

③ クリーンスポーツアスリートサイトへのリンクバナー

④ 選手権大会のプログラムに啓発ページ（プログラム版）

⑦ 選手権大会でポスター掲示、スポーツの価値動画の放映

⑧ アンチ・ドーピング e ラーニングの使用

- ・ワールドカーリング TTP は WADA ADEL（国際レベルアスリート）
- ・JADARTP/TP、JADA ナショナルプール、エリート強化チーム A/B/C、ジュニア強化チーム A/B/C、学生強化チーム、日本カーリング選手権大会参加選手、日本 MD カーリング選手権大会参加選手は WADA ADEL（国内レベルアスリート）
- ・日本ジュニアカーリング選手権大会参加選手、全日本大学対抗選手権大会参加選手、全国高校選手権大会参加選手、日本シニアカーリング選手権大会参加選手、日本ミックスカーリング選手権大会参加選手は FAIR PRIDE e ラーニング

⑨ SNS 等を利用したアンチ・ドーピング啓発活動の実施

4 医科学情報提供

各都道府県協会への連絡、ホームページへの掲載

5 医科学に関連する各講習会へ参加と情報提供

- ・アンチ・ドーピング教育会議
- ・アンチ・ドーピングフォーラム
- ・承認 Educator 講習会
- ・加盟団体スポーツドクター代表者会議

- ・アスレティックトレーナー連絡会議

6 トレーニング情報の提供

- ・エリート強化チーム研修合宿、ジュニア強化チーム研修合宿への参加など

7 大会時の医療体制の準備

- ・会場近くの病院へ診療依頼の連絡

8 スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー養成講習会新規受講者の推薦

- ・指導普及委員会と検討

9 トレーナーの大会帯同

- ・ジュニアや車椅子などトレーナー不在時の対応

1、委員会の開催

- ・web 会議は、毎月 1 回開催を基本とする。
- ・研修企画会議は、年 1 回の開催を基本とする。
- ・通報窓口に応じた申立のあった場合や、コンプライアンス違反等の重大な案件が発生した場合は、必要に応じ随時 web 会議を開催し、事実調査等を行う。

2、ガバナンスコードに関する取り組みの実施

- ・地方組織等に対して、ガバナンスの確保やコンプライアンスの強化等を浸透させるための適切な指導や支援を行える体制作りを引き続き行い、全国事務局長会議でのコンプライアンス研修を実施する。

3、コンプライアンスに関する研修会の開催（web 開催含む）

研修企画会議にて委員の知識向上を図るとともに、各カテゴリーの研修内容を再検討し資料作成を行う。

役員、事務局を対象とした取り組み

役員、事務局を対象としたコンプライアンス&ガバナンスに関する研修を開催し、コンプライアンス強化と適正なガバナンスの確保を図る。

強化委員会と連携した取り組み

強化合宿等（ジュニア強化選手も含む）で、選手及びコーチを対象としたコンプライアンス研修を開催し、「日本代表及び強化選手の行動規定」等への理解と認識の向上を図る。

競技委員会と連携した取り組み

審判員を対象としたコンプライアンス研修を開催し、コンプライアンス強化と適正なガバナンスの確保を図る。

指導普及委員会と連携した取り組み

JSPO 公認スポーツ指導者養成講習会にて「コンプライアンス&ガバナンス」研修を開催し、指導者としての、スポーツ・インテグリティ保護・強化への取り組みを推進する。

一般協会員に向けた取り組み

全国事務局長会議にてコンプライアンス研修を開催し、JOC、JSPO 等 HP 内の研修動画閲覧を一般協会員に促すよう案内する。

4、協会ホームページを活用した啓発活動

協会ホームページを活用し、「スポーツ・インテグリティ」を脅かす反社会的勢力との関わりの禁止、違法賭博等違法行為への関わりの禁止、人種差別の禁止、アンチハラスメント、暴力行為根絶等への取り組みを推進する。

5、上部団体等（JOC、JSC、JSPO 等）の開催する研修会への参加及びアンケート調査への協力

上部団体、関連団体の研修等に理事等も含め積極的に参加し、コンプライアンス強化及び適正なガバナンス確保に努める。

*委員会開催

(web会議) 4回(8月・11月・1月・3月)

- *環境啓発横断幕の掲出(日本ジュニア選手権・日本選手権・日本MD選手権・地方大会)
- *各協会カーリング施設への環境啓発ポスター掲示
- *環境啓発DVDの活用(日本ジュニア選手権等)
- *主催大会等主要大会における大会参加者・スタッフによる環境保全活動
(参加選手・スタッフ・観客のゴミの分別、持ち帰りの徹底)
- *JOCスポーツ環境専門部会の会員としての活動
(JOCスポーツ環境専門部会会議・スポーツと環境地域セミナーの参加)
- *大会プログラムのデジタル化やオンライン化で紙媒体を削減する
- *SDGsの具体的な取り組みを検討し、実行する
(用具の手入れや修理などの情報を発信したり、不要な用具の再利用法を検討する)
- *外部団体と接点を持ち、啓発活動を行う

1. 委員会の開催

- web 会議を定期的に行い、事業進捗状況の確認、情報共有をする。
- 年に 1 回、集合会議を開催。

開催時期：6 月～7 月 会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室

2. 収益化の推進

- 日本選手権、日本 MD における有料観覧の運用管理。
- 主に上記大会における大会協賛社の獲得。
- JCA 公式、公認グッズ制作協力。
- 上記グッズ販売協力者との契約、連携。
- JOC×NF ジョイントマーケティング対応。

3. 対外広報活動

- テレビ局と大会放送に関する各種調整。
- 日本選手権、日本 MD における YouTube の大会動画配信に関する各種調整。
- マスメディア、WEBメディアへの情報発信と管理。
- 協会公式ソーシャルメディアを通じた情報発信。

4. 協賛社の契約書精査

- 事務局と連携し、契約にあたって契約書の精査、確認。
- 協賛社獲得ガイドラインの策定。

5. JCA ホームページ改修整備

- 事務局、総務委員会と連携し、新機能の設計や視認性・ユーザビリティを高めるデザイン制作、CMS の見直し等を実施する。(2030 年度までの継続事業)

6. その他

- サポーター制度等、新しい収入構造の設計。
- 日本選手権横浜開催に向けて関係各所と調整。
- マーケティング専門スタッフ配置に向け検討。

【目的】

競技・選手に関する事項、競技の発展、振興、普及に関する事項、社会的貢献や選手の活動、生活に関する事項について競技力向上のための環境をより良くして行く為に意見や情報を審議、精査し、理事会に提案する事を目的とする。

1. 委員会の開催

- ・年4回以上の委員会を開催する。

2. 全国のアスリートからの意見集約の実施、意見集約で集められた意見の問題解決へのアプローチ

3. アスリート委員会ホームページ管理、ならびに周知活動

- ・ホームページの改善やSNSの活用検討、チラシ作成・大会配布などを通してアスリート委員会の活動内容の周知を行う。

4. 「日本ミックスカーリング選手権大会」「日本カーリング選手権大会」および

「日本ミックスダブルスカーリング選手権大会」における大会参加選手コーチへの保育支援事業

- ・目的：子育て等の家庭生活とカーリングの両立ができるような環境整備を推進するため、子育てをしながらも安心して大会に出場することができるよう、大会期間中の育児環境をサポートする。
- ・事業内容：申請に基づき、対象大会に出場する選手及びコーチのうち、10歳未満の子どもを帯同させる方を対象に、
 - ① 大会会場内等において、子育てをしながらでも安心して大会に出場することができるように、環境整備を推進する
 - ② 対象者が試合中に子どもの世話をする者（以下、帯同者）を帯同させる場合に、帯同者の交通費及び宿泊費の補助する

5. トップアスリートによるジュニアカーリング講座の開催

- ・事業内容：「ジュニア育成の活動促進」を目的とし、指導普及委員会と共同で行い、オンラインのカーリング講座を開催することでジュニア層の強化及び活動促進を図る。

対 象 者：日本カーリング協会に登録する（または登録予定がある）、21歳以下の選手

開催時期：9月（予定）

実施方法：Web ミーティング（Zoom）

時 間：90～120分程度

参 加 費：無料 ※募集定員100名

講 師：国内強化指定選手

テ ー マ：練習メニューと戦術について（仮）

6. 物販（カーリングカレンダー）事業（マーケティング委員会と協力して実施）

- ・事業内容：カーリングの認知拡大、ファン獲得に向けて物販を行う。
- ・時期（予定）：6月頃 作成開始
8月頃 印刷依頼
11月頃 販売開始
翌年2月頃 販売終了
- ・販売方法：ネットショップ開設または外注、JCA 協会主催での会場販売（予定）

7. アスリートキャリアデザイン事業

- ・目的：アスリートの競技活動（選手生活やスポンサー関係）を始め、競技外でのキャリア構築や、選手活動引退前後に関わらず選手の環境を豊かにしていくため、幅広い知識や理解を深めていく。
- ・実施内容：①オンラインワークショップ
開催時期：7～8月に2回開催（予定）
場所：web ミーティング
時間：1 時間半程度
②各種セミナー等開催情報の共有
 - ・JCA 事務局と連携して JOC や関係機関からの情報を収集、周知

8. フロアカーリング体験の実施

- ・目的：「2050 JCA 長期ビジョン」における個別ビジョン「カーリングをする人が100万人に達し、カーリングコミュニティが1,000万人規模になっています」達成に向け、カーリングファンを対象にカーリング体験の機会を提供する。
- ・実施内容：JCA 主催大会期間中の会場内にフロアカーリング等を設置、体験会の実施
- ・開催日：JCA 主催大会期間中
(日本カーリング選手権大会 予定)
- ・対象者：大会来場者等

9. 普及事業アリーナ視察調査

- ・目的：大阪府泉佐野市にある関空アイスアリーナでは、カーリング施設があるが現在まだ利用実績が少なく、施設の方のアイスメンテナンス知識の技術指導も必要としている。
普及を必要としている特に西日本地域の環境改善のため、そして将来的なカーリング体験イベントなどの実施検討も踏まえた現地視察を行う。
- ・実施内容：関空アイスアリーナ現地視察・アイスメンテナンス指導
(指導普及委員会や京都カーリング協会と連携して実施する)
- ・実施日(予定)：施設担当者と相談し、施設利用可能時期に2日間1回実施する

1. 中長期計画に基づく国際戦略策定
 - ・ 人材育成、派遣事業、国際大会誘致等事業
2. 委員会開催
 - ・ Web 会議（Zoom 等。年6回程度（原則隔月開催。WC 総会直前・OpenMeeting 直前には開催））
3. 関係機関との連携
 - ・ ワールドカーリング（WC）等団体との折衝
 - ・ 依頼要請等発生により随時
 - ・ JCA 各委員会との連携
 - ・ 各委員会委員異動に伴う国際委員会委員指名要請（必要に応じて）
 - ・ Annual General Congress（AGA: 年次総会）等に向けた JCA 意思確認
 - ・ その他随時
4. 人材派遣
 - ・ WC 関連会議への評議員派遣
 - ・ WC 総会（3名。2024/09 @モントリオール）
 - ・ Open Meeting（2名。おそらく 2025/03-04（世界選手権開催時））
 - ・ PA Zone Meeting（1名。おそらく 2024/fall（PCCC 時））
 - ・ WC 委員会等委員への人材送り込み
5. 人材発掘・育成
 - ・ 国際的人材の確保
 - ・ 国際人アカデミーへの受講者推薦（可能であれば）
 - ・ 国際審判育成（競技委員会と連携）
 - ・ 国際活動に興味のある人材の掘り起こし
6. 国際大会招致準備
 - ・ 招致に向けたワーキンググループをマーケティング委員会等と連携して設立
 - ・ 開催地キーパーソン、JCA 役員、競技委員会委員、国際委員会委員の WC 主催イベントへの視察派遣
 - ・ 派遣先、派遣人員は下記をベースとするが、具体的には追って検討・調整
 - ① 世界選手権（女子：2025年3-4月）
 - ② 理事、競技委員、マーケティング委員、各1名
（Open Meeting 出席の評議員がアテンド可）
7. 情報発信
 - ・ 協会 Web サイト等の活用（総務委員会と連携）
 - ・ 国際人材掘り起こしに向けた布石として
8. 情報収集
 - ・ 国際大会誘致に向けた、運営面、マーケティング面のノウハウ等情報収集
 - ・ JOC や他競技 NF との連携。Curling Canada 等、既存成熟 MA からのノウハウ獲得
 - ・ 国際大会経験の豊富なアスリートからのヒアリング
9. 予算案
別添の事業予算書参照